

「鉄工業労働災害防止対策説明会」を開催しました

新居浜労働基準監督署では、平成29年7月25日に、鉄工業労働災害防止対策説明会を開催しました。

本説明会は、第12次労働災害防止計画期間中の休業4日以上労働災害に占める製造業の割合が約4割と最も高く、中でも鉄工業は毎年製造業に占める割合が増加し平成28年には約4割に達したことから、労働災害の取組を推進して頂くために開催したもので70事業場76名が参加されました。

鉄工業における労働災害の防止のためには、同業種における労働災害の約6割を占めるはさまれ・巻き込まれ災害、墜落・転落災害、転倒災害の防止対策の徹底と取組強化、作業場に潜んでいる危険を見つけ出すためのKY（危険予知）活動、職場の危険を可視化し労働者全員で共有する取組の強化が不可欠となっております。

新居浜労働基準監督署では、平成25年度からの5ヵ年計画である第12次労働災害防止計画に基づき、最終年である平成29年の休業4日以上労働災害377件以下（平成24年比15.7%減）を目標とし、目標達成のため取組を行っております。労働災害の防止に向けてなお一層の安全衛生活動の推進をお願いします。

